

9.23 手話言語の国際デー

出雲市手話言語条例制定2周年記念公演

ろう者と聴者が共につくる人形劇

かわのわっぱ



9月23日(月・祝)

開演 13:30

<開場 13:00・終演 15:00>

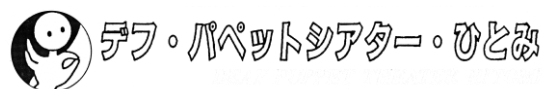
ビッグハート出雲

白のホール

原作: 火野葦平

「河童曼荼羅」

脚本・演出: 立川ひろみ



前売券: 大人 1,500 円 4歳~中学生 1,000 円 当日券: 各 200 円増 (全席自由)

チケット: ビッグハート出雲 連絡先: 小林 電話 090-2863-2633

主催: 「河の童」公演実行委員会 / 出雲市聴覚障害者協会 / (公財) 現代人形劇センター

後援: 出雲市 / 出雲市教育委員会 / 島根県ろうあ連盟 / 出雲市身障者福祉協会 / 山陰中央新報社
(一財) 全日本ろうあ連盟 / NPO 法人日本ウニマ (国際人形劇連盟日本センター)



文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

かわのわっぱ

人種、国籍、宗教、性別、障がい
様々な違いを抱えて生きる現代の我々にとって
真に「共に生きる」とは何かについて
考えてみましょう



あらすじ

村はずれの井戸には河童が住んでいました。
河童は、コイヤフナ、カニやカエル、ゲンゴロウとプカプカ泳いだり、子どもたちと相撲をとったり、のんびりした毎日を過ごしています。
そんな河童とある少女との出会い。
河童の周りには、子どもたちの笑顔があふれ、いつまでもそんな時間が続くと思っていました。
でも……。村に干ばつが続いた年、村人たちはそれを河童のせいにして。河童は井戸の底で考える。人間たちの行動が分からない河童は、身体中をかきむしりながら、一体どうしてこんなことが起こるのだろうと考えます。

デフ・パペットシアター・ひとみ

ろう者と聴者が協同してつくるプロの人形劇団です。
NHKと共同で「ひょっこりひょうたん島」を製作した、人形劇団ひとみを母体に、視覚言語を使うろう者と音声言語を使う聴者がお互いの感性を活かして作品をつくることで、今までにない表現方法をうみ、生の舞台をあまり観る機会のない方も、子どもから大人まで障がいのあるなしに関わらず、一緒に楽しめる舞台をつくることをミッションに活動を続けています。



キャスト

善岡修

(元 NHK みんなの手話講師)

やなせけいこ

榎本トオル 鈴木文

加藤埜明 増子仁美